

# つなまち

2015年7月21日発行

No.198 TSUNAN-MACHI

## 6月定例会 6/17~19

補正予算、条例改正……………	02
その他議決、TPP請願・意見書、第2回臨時議会	03
一般質問 町政を問う……………	04~09
委員会レポート、全議員研修……………	10~11
町民登場/編集後記……………	12

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 河田 強一  
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。



てっぺん  
**若者よ、頂上を目指せ!**

平成27年第2回町議会定例会が6月17日から19日までの3日間開催されました。初日は一般質問に5人が立ち、常任委員会を行いました。総文福祉常任委員会では、安保関連法案に関する請願を継続審査とし、産業建設常任委員会では、TPPの請願を全員賛成で採択としました。2日目は一般質問に6人が立ちました。最終日は条例改正、権利の放棄、町道認定、補正予算について審議しました。報酬、給与、権利の放棄では、賛否が分かれていましたが活発な議論がされ専決処分2件を承認、議案、発議案10件を可決、請願1件を採択し、第2回定例会を閉会しました。

## 補正予算

補正予算を審議し原案どおり可決しました。

### 一般会計

補正額	1億6,464万円
総額	69億6,064万円

#### 主な歳入増

- 農業基盤整備促進事業負担金増 2,058万円
- 臨時福祉給付金給付事業費補助金増 1,200万円
- 災害復旧事業補助金増 5,625万円
- 過疎対策債増 5,350万円
- 農地・農業施設災害復旧事業増 2,230万円

#### 主な歳出増

- 総務費
  - 旧上郷中学校改修工事費増 1,107万円
- 民生費
  - 臨時福祉給付金増 1,200万円
  - ひまわり保育園改修工事費増他 4,352万円
- 農林水産業費
  - 農業基盤整備工事費増他 5,188万円
- 災害復旧費
  - 災害復旧工事増他 7,500万円



生まれかわる旧上郷中学校



ひまわり保育園増築地

## 特別会計

### 介護保険特別会計

- 主な歳入増
  - 一般会計繰入金増
  - (低所得者保険料軽減費等繰入金)

228万円

### 主な歳出増

- 協議会委員報償費

27万円

### 病院事業会計補正予算

#### 主な歳出増

- 備品購入費

212万円

## 専決処分承認

- 承認第2号 町税条例等の一部改正 (全員賛成)
- 承認第3号 町介護保険条例の一部改正 (全員賛成)

## 条例改正

- 議案第38号 職員の再任用に関する条例の一部改正 (全員賛成)
- 理由 特定警察職員(警部以下の職員又は消防司令以下の職員の年金支給開始年齢適用)についての改正です。

- 議案第39号 町特別職の給与に関する条例の一部改正

(賛成12、反対3 可決)

- 理由 新たに、特別職となった教育長給料月額の一部改正です。

## その他議決

議案第40号 権利の放棄について

(賛成14、反対1 可決)

議案第41号 町道の認定について

(全員賛成)

### (その他議決)

**理由** ①議案第40号は、(株)津南高原開発と平成27年9月30日に10年の賃貸借契約が満了することから、町が前債権者から譲渡を受けた債権を放棄するものです。

「貸付金債権」元本額 1億1,727万3,779円  
②議案41号は、船山集落内「上沖線」135・4mを町道に編入するものです。



現地図面 (船山上沖線)

## TPP請願意見書

TPP請願はJA津南町から提出され、全員賛成で採択されました。

TPP交渉については、4月以降、日米農産物協議に関し、米の輸入枠拡大が検討されているといった報道が相次ぎ、生産現場ではかつてない不安が広がっています。こうした報道の内容で、期限ありきで拙速に妥協することは許されません。

また、わが国農業は、地域の特性を踏まえて、重要品目以外にも様々な農業が営まれており、農林水産物の多くの品目が関税撤廃の対象となるとの懸念が広がっています。

一方、情報開示に対する政府の対応は、マスコミ報道のみが先行する中で、混乱と不信を増幅させる事態を招いています。

米の輸入枠拡大などをめぐる具体的かつ数値入りの報道が正確でないのであれば、政府は、懸念を払しょくする十分かつ明確な説明を行うべきです。

このため、TPP交渉が最終局面を迎えている中、以下の点について、政府に対して強く要望いたします。

米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要品目を除外又は再協議の対象とすること、国民の暮らしやいのちに関わる食の安全やISD条項、さらには情報開示について定めた衆参農林水産委員会決議を必ず実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年6月26日

津南町議会議長 河田 強 一

## 第2回臨時議会

議案2件を審議し可決しました。

### ●財産の取得について

- 1 財産の表示 除雪ドーザ
- 2 財産の目的 冬季交通の確保を図るため
- 3 取得予定価格 1,385万円

(全員賛成)

### ●工事請負契約の締結について

- 町営住宅(美雪町H棟)建設工事
- ・契約の方法 一般競争入札
- ・契約金額 8,316万円

(全員賛成)



美雪町住宅建設予定地

# 町政を問う!!

## 一般質問 (11議員)

- ① 伊林 康男 議員 (P4)**  
1. 農産物のブランド化推進策は
- ② 石田 タマエ 議員 (P5)**  
1. 要介護認定者増への対応策を問う
- ③ 根津 勝幸 議員 (P5)**  
1. ジオパークの今後の展開は  
2. 宝山荘購入の意義は
- ④ 大平 謙一 議員 (P6)**  
1. 高齢化による住民の防災対策は
- ⑤ 滝澤 茂光 議員 (P6)**  
1. ナラ枯れによる災害の未然防止を

- ⑥ 恩田 稔 議員 (P7)**  
1. 津南駅の振興策を問う
- ⑦ 風巻 光明 議員 (P7)**  
1. 自律した10年間の総合評価は
- ⑧ 桑原 悠 議員 (P8)**  
1. 産業、教育機関の誘致を  
2. 子育て支援に安心感を
- ⑨ 栗原 洋子 議員 (P8)**  
1. 病院と地域医療を守る責務を問う
- ⑩ 村山 道明 議員 (P9)**  
1. 高温に強い晩生新品種の導入は  
2. 難病患者への通院費支援を
- ⑪ 藤ノ木 浩子 議員 (P9)**  
1. 医師・看護師確保対策は



Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 農産物のブランド化について

津南町の農産物のブランド化について、今後予想される厳しい産地間競争を生き抜くためには、地域ブランド化は極めて重要である。日本最高品質の魚沼産コシヒカリを、日本だけでなく

津南町の農産物は魚沼米をはじめ、アスパラガス、スイートコーン、雪下ニンジン、ユリ、切花等全国どこの産地と比較しても、美味しき、質の高さでは負けない。JA取り扱いの津南産コシヒカリは6月中に全量が完売され、品不足の現状は消費者から高く評価されているあらわれである。

津南町の農産物のブランド化の重要性と必要性をどのように認識されているのか。

### 農産物のブランド化推進策は



伊林 康男 議員



アスパラガス収穫風景

津南産魚沼米のさらなる品質向上、生産コストの削減を目指す。野菜等については農林産物販売会議を中心として指針に基づく徹底管理をしていく。

津南町の農産物のブランド化に向けて、今後の取り組みと体制を構築すべきと思うがどうか。

豊かな自然、豊富な水で育った美味しく安全な農産物を消費者に届けるという高い意識が津南町の農産物の評価の原動力であり、今後も高いモチベーションを持ち生産に取り組んでいただきたい。

世界に発信することや、競争に勝つために独自の指針を定めた認証米の作付面積を拡大していく必要がある。畑作関係では気象、立地条件に合った高品質で美味しく安全な産物を生産し、有利販売すること。また他のすべての農産物について津南ブランドの知名度を高め、生産者の所得向上につながる努力をしたい。

# 高齢者も安心できるまちづくりを

## 要介護認定者増への対応策を問う

**問** 要介護認定者が激増し、平成29年度には当町の総人口に占める要介護認定者が1割を超えるかと推計されている。実施してきた介護予防の成果を問う。

**町長** 「寝たきり0運動」や「サロン事業」を進めているが、サロン事業の世話役のいない集落では実施できていない。当町の介護予防事業はまだ熟成されていない。

**問** 平成29年度から実施を計画している地域包括ケアシステムを進めるための医療・介護人材の確保・育成の具体策を問う。

**町長** 全国的な課題であり、当地域でも苦慮している。奨学金制度の返還義務免除等を検討しても良いかと考える。何といたっても津南に



石田 タマエ 議員

誇りが持てることが大切であると考え

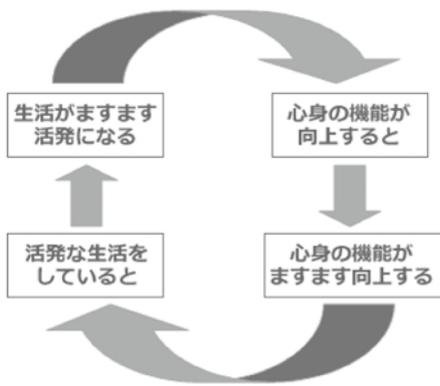
**問** 高齢者世帯や独居高齢者は高齢者住宅を望む声が多いが、今後の整備計画はあるか。また、高齢者の越冬のための対策を立てて、社会福祉協議会内にある住居を年間稼働できないか。

**町長** 必要だと認識している。今後空き家や温泉施設なども含めて考えていきたい。越冬のための住居については、国・県と協議をしていきたい。

**問** 要介護状態となった時に住民は施設入所を希望するが、今後の施策とに乖離が見られる。どう理解してもらおうか。

**町長** 平成29年度から計画している「地域包括ケアシステム」を機能させることで、在宅での生活がスムーズに行くようにしたい。

### 介護予防で「好循環」にしていこう



Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# ジオパーク今後の展開はどうするのか

## 今後の展開と要員の確保は必要なののか

**問** 苗場山麓ジオパークをこれからどのように展開するのか。

**町長** 現在は日本ジオパーク委員会に提出したアクションプランの実行期に入っている。今後の展開については、①アクションプランに沿ったジオサイトの環境整備を進める。②ジオサイトを紹介するパンフレット、ポスター、地図、インターネットによる情報発信の充実を図り、内外へのPRを一層進める。③小中学生のジオ学習をさらに充実させ、わが郷土に自信と誇りを抱くような教育を進める。④日本ジオパーク委員会や他のジオパークとの連携を通して苗場山麓ジオパークの知名度をさらに高める。以上

4点を中心に事業展開していきたい。

**問** 事業展開に要員の募集は行わないのか。

**町長** マンパワーに関してジオパーク委員会から手薄と指摘された地質分野について専門員1名を追加配置した。

**問** ジオパーク養成講座やガイド検定の継続と、小中学生にもジオパークの津南を知ってもらうための検定を望むかどうか。

**教育長** 前向きな提言をいただいた。小中学生にも理解を望む。

**問** 竜ヶ窪温泉の経営の立直しが必要なのに新たに宝山荘購入の意義は。

**町長** 竜ヶ窪温泉は長引く景気の低迷と高齢化によるリピーターの減少がある。町は追加出資をしたが、地域の方から多くの利用をお願いしたい。宝山荘は地域に根ざした固有の資源として購入する。



根津 勝幸 議員



なじよもんにてジオパークの紹介

# 安心安全の町づくり計画は

**町長** 組織に伝達しても関係機関に通報しても間に合わない地域もある。行政主導では限界があり、地域住民の協力が大きな力になると思っっている。

**問** 組織の強化や設備の充実も大事であるが、高齢者や要援護世帯は、対応が遅れ惨事になりやすい。いざというとき、身の危険を知らせる方法を町は考えられないか。

**町長** 各集落の自主防災組織の育成や防災訓練に対する助成、消火器購入費助成を行い、広域消防や集落に対し協力要請を行うなど災害予防に取り組んでいる。

**問** 町は防災力の弱まった町民をどう守って行くのか。

## 高齢化による住民の防災対策は



大平 謙一 議員

**問** 生活用水が不足している地域は正面や外丸本村等数か所あり、町が水確保対策を進める必要がある。

特に東電との水利権交渉は大きな課題であるが早急に取り組む考えはないか。

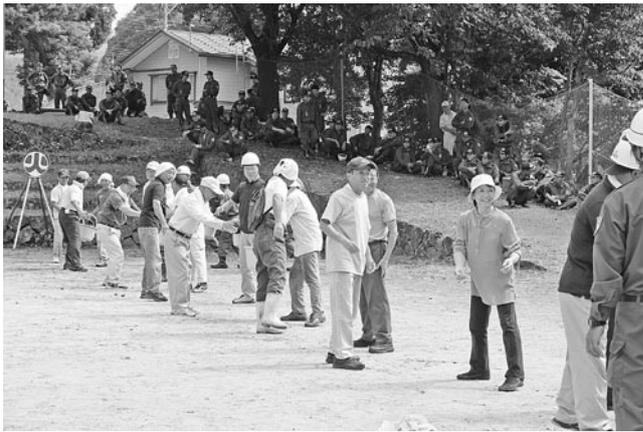
**町長** 東電との水利権交渉は今考えていない。

**問** 正面の防火水槽充足率は。

**総務課長** 正面も津南全体でも64%程度である。

**問** 今年の耐雪性貯水槽の予算はゼロと聞いている。今後の見通しは。

**町長** 長年の課題であり予算獲得に向けて継続して要望していく。



地域防災訓練

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# ナラ枯れによる自然災害の未然防止を

## 大量のナラ枯れは災害を引き起こす

**問** 近年大量発生したナラ枯れは倒木の時期に入ってきている。雪解けや豪雨などにより、雪崩や土砂崩れを引き起こす危険性が高まっている。急傾斜は特に危険性が高い。すでに雪崩



滝澤 茂光 議員

を引き起こす事態が生じている。山林や木は個人資産であるが高齢化も進み、管理や対応に無理がある。以前、国道405号では急傾斜地のナラ枯れを枝の落下の危険から除去した経過もある。地権者に通報し、伐採や除去をし、災害を未然に防ぐための条例制定はできないか。

**町長** ナラ枯れは町内全域で発生しており、至る所で倒木している枯れ木がある。山林は個人、集落の財産で、所有者管理が基本だ。

秋山郷国道整備期成同盟会総会でも議題になり、県も検討するという認識を示している。状況に応じて検討していかねばならないと考えている。

**総務課長** 例えば「地権者の同意を得ずに勝手に伐採する」など法令に反するような条例を作るのは難しい。



今にも倒れそうな「ナラ枯れ」

# 津南駅の振興策を問う

## 駅は町の玄関口 積極的なPRを

**問** 苗場山麓ジオパークを推進する上でも、津南駅は重要である。しかし津南駅はジオパークに積極的に取り組んでいる町だという雰囲気を感じない。飯山線を利用してのPRを積極的に取り組むべきだが。

**町長** 北陸新幹線の開通で北陸、関西方面からの移動が飛躍的に向上した。飯山駅にも津南のPRブースを設け、飯山線を利用しての誘客を行っている。また、フォトコンテスト事業への協力やSLの運行などをめざし国交省、県、JRに要望している。今後、津南駅には駅前温泉組合と連携し、ジオパークののぼり旗や観光ポスターなどを設置しPR活動を行う。



恩田 稔 議員



飯山線観光列車「おいこつと」

**問** 観光列車「おいこつと」が土・日に長野・十日町間を一往復している。ほぼ満員の人気列車である。この乗客に津南駅で下車してもらい、津南を散策する企画を考えるべきと思うが。

**町長** 津南の持っている自然、食など本物でもてなしができるように検討していく。

**問** 乗客数は年々減少している中で、県立津南中等校に町外から300人程度の生徒が通学している。飯山線で津南駅まで利用できればいいのではないか。ダイヤの問題など様々な課題はあるが、利用客を増やすことが、津南駅の今後にとっても重要である。町として今後検討すべきことと思うが。

**町長** 一つの考え方であるが、今後の推移を見極めて判断する。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 自律した津南町の10年間の検証は

## 自律した10年間の総合評価は

**問** 平成の大合併から10年が経過。津南町は自律し、その10年間の行政評価をどうとらえているか。また自律したデメリットの改善策は。

**町長** 行財政改革は実測値が推計値を上回っている。人口・農産物・観光などは伸びていないが、着実な行政運営を行ってきた。計画を下回った項目については今年度作成する「まち、ひと、しごと総合戦略」の中で計画を練り上げていく。

## 目標に対し問題と思われる対策は

**問** 町の基幹産業である農産物は販売額など減少している。今後は付加価値の高い販売が必要だが、ブランド化の施策は。

**町長** どこよりもおいしく、安全な農産物を育て消費者に喜んでもらえることが一番。この6月1日にGI制度（地理的表示保護制度）が施行され、取得に向け、JAなどと検討していく。

**問** 行財政改革で歳出削減対策が盛り込まれており、人件費や経費の削減を行うとしているが、結果がでていない。今後はどう取り組むのか。

**町長** 行政の効率化、財政改革は永遠のテーマである。毎年の予算編成方針でも分かるように、来年度もスクラップ・スクラップ・スクラップの方針で続けたい。

**問** 自律した場合のデメリットは、新しい行政ニーズが発生すると人員を増やさなければいけない。津南町はまさにそのパターンで臨時員も含めるとトータル人員は増えている。対応策は。

**町長** 行政コストを考えると少数精鋭が必要。交付税の先行きが厳しいなかで、どうやって行政サービスを確保するのは大きな課題だ。



風巻 光明 議員



地理的表示制度(GI制度)で農産物のブランド化を

# 重要性が高まる水力発電の対応は



桑原 悠 議員

## 産業・教育機関の誘致を

**問** 新しい農業経営のモデルとなる起業家や企業を町長自ら呼び込む考えは。

**町長** 町の財政支出が必要となる場合も考えられ慎重になるが、一方で積極的に進めなければならぬ。県の事業でアグリビジネスを

目指す人への支援があり、津南町もそうした人向けに県外で説明会を行ってきた。

**問** 農業の町として農業系の専門学校、大学のサテライト校の立地に向かう考えは。

**町長** 今まで取り組んでこなかったが、可能性がある所があれば情報提供を願いたい。

**問** 水力発電関連の投資を企業に働きかける考えは。

**町長** 町では中深見源内山



昨年の信濃川発電所の視察

調整地の小水力発電の工事中で秋に完成予定。関電工が結東の砂防堰堤を使った小水力発電に取り組み。東京電力の工事も何箇所か予定している。

**問** 水力発電に関する情報収集は。

**町長** すでに調査が済んでいる場所もあるので、引き続き情報収集に務める。

## 子育て支援に安心感を

**問** 子育て支援で第3子以上の保育料無料化を。

**教育長** 現在の保育料は国の徴収基準額のおよそ半額で、県下ではトップクラスの軽減率である。第3子以降の保育料無料とした場合、歳入約500万円の減となる。後は政策判断ではないか。

**町長** 保育料は軽減してきたが、少子化に歯止めがかからないのが実態。一度始めると継続しなければならぬ。国県の事業化を要望していく。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 報告書を指針に町挙げて看護師確保を



桑原 洋子 議員

## 町は病院と地域医療を守る責務があるが

**問** 経営診断報告書は、「現在のベット数を維持する医療需要はある」とし、「病床削減は経営悪化の悪循環をもたらす」としている。「今後看護師は退職者を補充できる人数の確保が急務であり、町を挙げて取り組むべき」としている。退職者数の補充についてどう受け止め、どう取り組むのか。

**町長** 全町あげて取り組むべきと認識している。現在奨学金制度を12人が利用しており、将来に向けて看護師確保対策の土台部分は固まったと考えている。病院と行政、地域が連携する中で看護師不足に対応していく。地域医療を守るため近隣市町村、県との連携を図りながら、より充実した医

療供給体制を確立していきたい。

**問** 2病棟の病床維持、外来診療を継続充実し、地域医療を守ることは、町の責務であると考えらるか。

**町長** 病院運営審議会で総合的に検討されている。本年度と同じ外来、入院診療体制の維持は、看護師不足により平成28年度から難しい。厳しい選択もせざるを得ない可能性もある。近未来的に推測される町の実態、魚沼医療圏域の環境が大きく変わろうとしている中で、いつまでも現状維持がベストという考え方は持っていない。コンサルタントの報告書通りに病院を運営していくことは毛頭考えていない。もう5年早くやって頂いていれば現状がもっと緩和されていたと思う。

**問** 役場に看護師確保専門の職員配置の考えは。

**町長** 病院職員のOBの方にボランティア的をお願いしたい。



あらゆる手だてでアピールを

# コシヒカリに並ぶトップブランドを



村山 道明 議員

**高温に強い  
晩生新品種の導入を**

**問** 「新潟103号」が平成29年度から販売開始となる。県知事は「県の特産品として期待している。現魚沼コシヒカリは町認証米として、高い評価を受けているなかで町は「新潟103号」をどのように奨励するか。

**町長** 町では、標高450m地点2箇所で作中。今後この評価結果や食味等調査の情報を収集し検討する。

**難病患者へ  
通院費支援を**

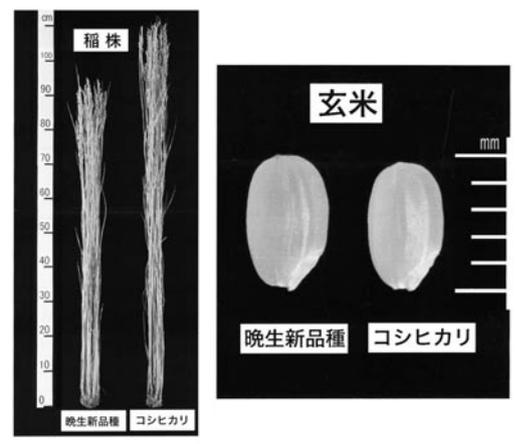
**問** 特定疾患（難病）の治療は、定期的に特定病院まで通院する。その交通費が、重荷になっており、支援する必要があると思うがいかがか。

**町長** 特定疾患は現在対象56疾患から、夏頃に300位指定される。町内では81人が対象となっている。今後保健所と協力し、通院手段などの把握に努め行政の支援のあり方を研究する。

**看護師の福利厚生を  
手厚く**

**問** 看護師の確保には、勤務環境の整備なども重要である。看護師寮の整備や院内教育研修制度の充実を望むが取り組みについて考えは。

**町長** 看護師寮は無いが、医師住宅の再編と合わせ住宅希望の声に、前向きに検討する。住宅家賃助成や研修を積極的に実施していく。



晩生新品種（新潟103号）

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 病院経営診断書をどう認識しているのか



藤ノ木 浩子 議員

**医師、看護師確保が  
急務だが**

**問** 報告書には「患者数の大幅な減少が経営悪化を招いている要因とし、病院側にも課題がある」と指摘している。どんな課題か。また「患者がいない」旨の町長発言に今も変わりはないか。

**町長** 常勤医の減少を非常勤医で補ってきたが、入院患者の受け入れが難しく、診療日数の減少に伴い患者数が減少したと考えられる。常勤医確保が大きな課題である。病院がそのまま推移すると仮定した場合、患者確保が課題と認識している。

**問** 報告書は「人口は減少するものの、高齢者に大きな変化はなく、平成37年頃まで医療需要はある」として、2病棟維持することを

示唆しているが、町長も同じ認識か。

**町長** 判断は間違っていない。医療需要に関しては同感だが、医療需要とベッド数の考え方は別だ。国は今後、15〜20万床減らすと考えている。当然そうした方向で医療が再構築されると思う。津南病院が時代の流れにはずれて経営を行うことは考えていない。

**問** 報告書では、「1病棟に削減し60床にした場合、年間97%の稼働率の維持は現実的でない」としている。療養病床を維持するためには、何としても看護師確保である。縮小はやむを得ないと考えているのか。

**町長** 医師、看護師確保が重要課題と疑うところはないが、魚沼圏域の医療システムが大きく変わりつつある。最も町民サービスが効率的にできる病院の形態を考えたい。



車イスでの病院受診

# 総文福祉 委員会レポート

●委員長 草津 進

## 糸魚川世界ジオパーク視察

とき 5月22日(金)

ところ 糸魚川市

**内容** 糸魚川市は、フォッサマグナ(2000万年前)の糸魚川〜静岡構造線(4億年前)の上にあります。この構造線を境に東西の生活環境や海中生体も変わり漁獲される魚の種類も違っています。糸魚川ジオパークは2009年に日本初の世界ジオパークに認定されました。3つの要素として大地、環境、文化は日本も世界も同じだそうですが、ストーリーが大切ということでした。推進室の体制は4区分14名で科学、行政、技術、契約職員と外国人を含め多様なスタッフでした。ジオパークは24のサイトからなっており、小・中学生の「学ぶ」から誘客宣伝まで大きな効果があるようでした。地域の活性化の取り組みでは「地酒」や「食」「ジオパークマスター」「ナンバープレート」等

多種多様でした。フォッサマグナミュージアム(地球博物館)にはヒスイ、貴石、奇石が約千点もあり飽きることがありませんでした。

### 視察を終えて

行政と地域住民とが共に「団結」すること、そして「おもてなし」が重要と感じました。津南町はこれからです。町民全体で盛り上げていくことが大切であると感じました。

(担当：中山 弘)



フォッサマグナミュージアムで体験

## 津南病院との懇談会

とき 4月23日(木)

ところ 病院大会議室

**内容** 町民の命と健康を守る津南病院は、深刻な看護師不足に直面しています。町は平成26年度に全国自治体病院協議会に経営診断を委託しました。改善策の第一は医師、看護師確保が最も重要と位置づけています。議員をはじめ病院職員等がこの経営診断の報告を受けたなかで、改めて病院の実態を伺い、経営の改善や、病院を守る手立てを探るため病院職員との懇談を行いました。

一般入院病棟では、75%が80歳から100歳の高齢者で介護が必要。90日を超えての入院患者も5〜6人いる状況でした。療養病床は、入院を35人までと制限していますが、患者は同居や息子等と2人暮らしの方が多く、さらに介護度4か5で特養入所を待っている状況とのことでした。

### 懇談を終えて

津南病院長は、看護師確保の対策として、潜在看護師の確保、院内保育や住宅確保を行い働く環境を良くしたいと述べられ全く同感でした。看護師を何としても確保する行動が必要と感じました。

(担当：藤ノ木浩子)

# 産業建設 委員会レポート

●委員長 大平 謙一

## 平成26年度所管事業成果巡視

とき 5月8日(金)

ところ 役場

**内容** 前年度に執行された建設課地域振興課の主要なハード事業の成果を見て、意見交換を行いました。

- 町営住宅建設工事(美雪町)
- 津南駅前消雪パイプ舗装打換え工事(押付)
- 見玉駐車場増設(見玉)
- 夏秋いちご加工施設兼販売所(正面)
- 反里赤沢線改良舗装工事(赤沢)
- JAアスパラ選別機・結束機(赤沢)
- 谷内2号線改良舗装工事(谷内)
- 上郷芦ヶ崎線改良舗装工事(朴木沢)

### 巡視を終えて

事業の実施状況は評価できるものでしたが、今後検討すべき点がありました。観光に力を入れていくためにはトイレの整備が欠かせませんが、管理をどうするかという点で、調査

や話し合いが必要です。

また、アスパラガスの選別機、結束機については、全国に販売PRを行うという話もあり、外に向かつていく姿勢が感じられました。今後も外に向けて積極的な姿勢で農業経営も観光振興も町全体でまとまっていくなことが重要ではないかと感じました。

(担当：桑原 悠)

## 津南町農業改良会議懇談会

とき 4月22日(水)

ところ 役場

内容 町農業改良会議は町経営・生産対策推進会議とともに開催されました。

この会議は、毎年4月に町内の農業行政機関や蔬菜・稲作・畜産・花卉生産組合団体が一同に会して、今年度の町農業大要について意見交換をする場として、意義深いものです。各団体が本年度に取組む計画概要の説明を受け意見交換を行いました。産業建設常任委員会にとっては、行政機関や生産団体代表者から実情を聞くことができる貴重な機会となつていきます。



(ユリ)  
雪美人の出荷調整作業風景



## 主な話題として

- 魚沼米販売が好調で、追加払いが見込まれ、ナラシ対策は10a2万5千円位支払いがある。
- 町は、特産品開発(農業の6次産業)を推進。
- 鳥獣被害(サル被害)が多発している。熊よけ電気柵)対策が重要。
- 酪農全般はコスト削減が厳しい。酪農家が減ってきている。
- 花卉関係では「雪美人」が有名になり市場評価が高い。
- アスパラガスの新植。

## 懇談を終えて

各機関・団体の対応から、新潟県農林振興部の「①水田フル活用・②「魚沼米」の食味・品質確保③園芸生産の拡大を含め、町の振興事業計画や町農協事業(重点施策)他機関、生産団体などの方向性が示されました。事業が円滑に推進されるよう協力していくことと致しました。

(担当：村山道明)

## 県内町村議会議員研修会

とき 5月21日(木)

ところ 県自治会館

内容 地方創生という言葉をよく耳にします。町でも、プレミアム商品券に始まり、関連予算に沿って進められています。あためたため地方創生政策の全体像や地方議員として見るべき点などを学びました。

講師の読売新聞本社編集委員・青山彰久氏は、

「地方創生は、「国が考え、地方が実施する」というシステムで始まったが、自分たちの地域に責任をも

つのは自分たちである。

「住み心地よい地域をつくる」という視点を基本に、行政が目こぼししている部分、国県の方向を向きすぎている部分を住民の立場に立って修正するのが議員。

など、30年間地方自治を取材してきた経験からしぼり出されるお話をされました。

また、「日本人の知らない中国の現実」と題して、ジャーナリスト富阪聰氏から、習近平政権の国内政策について学びました。

## 研修を終えて

今、地方は難しい問題をいくつも抱えており、津南町も同様ですが、根っここのところは、町民が住み心地よい、安心して暮らしていける地域を時代に沿ってつくっていくことです。それをあらためて確認した研修会でした。

(担当：桑原 悠)



## 町民登場

### この人に会いました・・・



## ボルダリング愛好チーム

クアハウス内でボルダリングをこよなく愛する若者達に会ってきました。

**Q** ボルダリングって何ですか？

クライミングの一種でホールドという埋め込まれた石のようなものをつかみながらロープを使わないで壁を登るスポーツです。

**Q** どのくらいの仲間がいるのですか？

登録されている人は200人ほどですが、いつも来る人は20人位です。

遠くは長岡、小千谷、六日町から来ています。また女性も5、6人います。

エアリアルパフォーマーの涌井みちるさんもよく来ています。

**Q** 喜びを感じる時は？

簡単には登れないのでつべんに登頂した時は達成感があります。その時は皆が拍手してくれ本当にやみつきになります。

**Q** どの位練習することができますか？

人によってそれぞれですが、できる人はすぐに慣れます。

ホールドをつかむ位置は経験を積むと分かってきます。子ども

の頃から始めれば運動神経や体力づくり、頭の体操になるのでとても良いと思います。

**Q** 体の中でどの筋肉が一番つかいますか？

全身の筋肉を使いますが、やはり腕の力が一番です。特別なトレーニングはいりません。

**Q** PRしたいことは？

このスポーツを行うとスリムになります。特に女性はダイエット効果もあり、二の腕も細くなります。またふれあいの場にもなりますので、若い女性もいっぱい来てほしいと思います。

筋肉質のスリムな若者達で礼儀作法もキチツとして笑顔が素敵でした。

「夜6時頃から行っていますので、皆様どうぞお気軽に来てみてください」とのことです。

## 編集後記 Editor's postscript

6月議会では通常議案審議の他に、国政に関する「安全保障関連法」や大詰めを迎えている「TPP交渉」に関して意見書の提出を求める請願を受け、付託常任委員会で活発に討論を行いました。いずれも町民の生活に直接関係するものであり難しい委員会審査でした。

今年は20年に一度のエルニーニョ現象により大雨、台風などの異常気象の予測が報道されていますが、津南町も心配されるところです。これからの暑い夏を元気にのりきりしましょう。

写真は、6月6日・7日に総合センターで行われた「青葉古流新潟支部」の60周年記念の「いけばな展」です。出展者は40人でそれぞれ素晴らしい作品でした。久しぶりに

伝統の美を楽しみました。(風)



「青葉古流新潟支部」いけばな展